

令和4年度

事業報告

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	1
多機能事業所ループ	10
生活介護事業所ループ歩	13
多機能事業所ループ奏	16
放課後等デイサービス事業所あざみ	18
日中一時支援事業所あるば	20
はまきた地域活動支援センター	22
特定相談支援事業所ぼるた	23
事業報告書の付属明細書	25

● 令和4年度 事業報告（法人全体）

はじめに（1年を振り返って）

今年度も新型コロナウイルス感染対策を講じながらの1年となりました。予定していたイベントを見送らなければならぬ状況、感染拡大防止として一時休所の判断をした事業所もありました。

一方でコロナ禍が故に得た新たな生活様式の中で、便利さや効率的な方法の新発見も多くありました。加えて、コロナ禍前に当たり前に思っていた「日常」が、これほどまでに尊い価値のあるものであるということにみんなで気づけたことは、私たちにとって財産にもなり得ることだと思っています。

令和5年度は、ウィズコロナからアフターコロナへ移行していくことを期待します。コロナ禍で得た新しい術を継続して活用しながら、コロナ禍前の日常よりもさらに素晴らしい日常をみんなで創り上げていきたいと思います。
(理事長 山下勝康)

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、写真を差し込むなどしてポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示してあります。「地域」をより強く意識していけるよう、各事業所の重点目標に地域とのつながりを進めていくための具体的取り組みを掲げました。

理念の言葉の成り立ちを深く理解し、今一度「作業所時代」も含めたこれまでの経緯を知る機会として、法人設立前後に尽力された法人OGをお招きし、理念理解増進を図る内部研修を行いました。

II 基本方針【(令和4年度スローガン) 自分の「強み」を見出し、発揮しよう】総括

前年度までに取り組んだ、ストレングスファインダーの結果から明らかになった個々の資質に注目して、専門委員会や、会議体組織のメンバー構成を図りました。意図どおりに円滑に進む面と、反面、課題が見えた部分もあったので、今後のブラッシュアップにつなげていきたいと思っています。

III 重点取組項目 総括

1 中期計画立案と組織再編について

具体的な立案に着手することはできませんでした。今年度の法人内部研修の中で、各職員から今後のビジョンや取り組み提案などもあったので、それらも踏まえて多角的な中期計画を今後立案していくように準備を進めます。

2 BCP（事業継続計画）の策定

コロナ禍がまだまだ収束したとはいえない状況の中でしたので、まずは感染症対策部分の策定に着手しました。大枠は完成したので、実情に合わせた更新方法、または災害時対策部分の着手に移っていく予定です。

3 苦情受付、解決システムの再考

コンプライアンス委員会を中心となり、実情の再共有と苦情の捉え方の共通認識を図ることから進めました。隠ぺい体質にならないよう、いただいたご意見をきちんと明るみにし、今後の支援に生かしていけるよう、今後も必要に応じてシステムの更新も視野に入れていきます。

4 人材育成システムの構築

人事考課制度の見直し、キャリアパスの更新までは至りませんでした。一方で、法人内研究発表会（通称：Mラーニング）を企画し、個々の興味関心の掘り下げや課題解決に主体性をもって取り組むことにチャレンジし、人材育成の面からも一定の成果は得られたと思います。

IV 事業内容と利用者実績

事業名	定員	目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標 達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援（ライム）	6	3.0	0.3	10.0%	5.0%
就労継続B型（ライム・なないろカフェ）	20	22.0	19.7	89.5%	98.5%
生活介護（さつき）	18	18.5	16.3	88.1%	90.6%
生活介護（まつぼっくり）	12	12.0	10.3	85.8%	86.2%
生活介護（るるる）	10	11.5	9.5	82.6%	95.0%
就労継続B型（ららら）	10	9.0	8.9	98.9%	89.0%
放課後等デイサービス	10	10.0	9.7	97.0%	97.0%
日中一時支援	7	4.8	3.4	70.8%	48.6%
地域活動支援センター	(20)	8.0	7.6	95.0%	—
特定相談	—	50.0	51.0	100.2%	—
浜松市障害者相談支援事業	※浜北・天竜障がい者相談支援センターへ相談員派遣				

※自立訓練（生活訓練）みかんは、令和4年1月1日より休止しています。

ループ奏は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、9月26日～30日まで稼働休止しました。

ループは、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、12月6日～9日まで稼働休止しました。

あざみは、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、12月27日～28日まで稼働休止しました。

V 職員体制

（ ）内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ		生活介護事業所ループ歩		多機能事業所ループ奏	
	就労移行	継続B型	さつき	まつぼっくり	るるる	ららら
管理者	1	(1)	1	(1)	1	(1)
サービス管理責任者	1	(1)	1	(1)	1	(1)
就労支援員	1(1)	—	—	—		
職業指導員	1.5(1.1)	3.8(2.3)	—	—		
生活支援員			7.9(3.4)	2.8(2.1)	3.6(1.9)	1.2(1.1)
目標工賃達成指導員	—	1(1.0)	—	—		1(1.0)
合計	2.5(2.1)	4.8(3.3)	7.9(3.4)	2.8(2.1)	3.6(1.9)	2.2(2.1)

	放課後デイ
管理者（兼務）	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員	5 (2)

	地域活動
管理者（兼務）	1 (1)
活動支援員（機能強化）	1 (1)
活動支援員（基礎事業）	2 (2)

	委託相談
相談員派遣	1 (1)

	あるば
管理者(兼務)	1 (1)
児童指導員	3

	特定相談
管理者（兼務）	1 (1)
相談支援専門員	2 (1.4)

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

() 内は、令和4年度当初予算

単位：千円

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	255,928 (254,607)	229,982 (230,154)	25,945 (24,453)
施設整備等による収支	13 (0)	14,698 (14,818)	△14,685 (△14,818)
その他の活動による収支	186 (0)	10,358 (427)	△10,172 (△427)
当期資金収支差額	—	—	1,088 (8,707)

2 資産・負債の推移

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3・4年度対比
流動資産	119,131	111,386	113,984	2,598
固定資産	290,447	285,177	284,214	△962
資産合計	409,578	396,563	398,199	1,635
流動負債	33,460	34,793	34,720	△73
固定負債	163,548	150,339	137,143	△13,195
負債合計	197,007	185,132	171,863	△13,268
純資産	212,570	211,431	226,335	1,635

VII 寄付金、補助金、助成金の状況

- 寄付金 : 計 5 件 789,339 円 ※すべて、理事長決裁で頂戴いたしました
- 補助金 : ・静岡労働局 285,000 円 (育児・介護両立支援金)
 ・静岡県国保連 1,826,364 円 (処遇改善臨時特例交付金)
 ・静岡県 374,000 円 (介護サービス等事業所物価高騰対策支援金)
 ・浜松市 642,000 円 (障害福祉サービス等事業所物価高騰対策助成金)
- 助成金 : なし

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額 (円)	詳細	財源
本部拠点	固定資産	719,510	本部建物内 WIFI 強化、有線 LAN 工事	自己資金
ループ	固定資産	170,830	ライム事務所エアコン入れ替え	自己資金
ループ歩	固定資産	440,000	さつきクッキー用オープン入れ替え	自己資金
ループ奏	なし			

IX 借入金及び借入金償還実績

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	680,185	0	71,310,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	472,218	480,000	21,928,000	
静岡銀行	3,480,000	317,167	0	57,010,000	ループ奏新築工事

単位：円

※利息補給は、NPO 法人活木活木森ネットワーク「木造公共建築物の整備資金等の借り入れに係る利子助成事業」

X 生産活動

	実績値 (円)	計画値 (円)	目標達成率
弁当	17,125,637	18,500,000	92.6%
喫茶 (なないろカフェ)	5,298,663	5,000,000	106.0%
下請け、他	4,188,129	4,000,000	104.7%
ループ計	26,612,429	27,500,000	96.8%
さつき下請け	1,082,381	1,550,000	69.8%

クッキー（さつき）	1,046,312	1,300,000	80.5%
パン・クッキー（まつぼっくり）	6,137,281	5,600,000	109.6%
その他（まつぼっくり）	3,900	8,000	48.8%
ループ歩計	8,269,874	8,458,000	97.8%
下請け	1,392,641	1,400,000	99.5%
天竜高校	1,770,810	2,400,000	73.8%
ループ奏計	3,163,451	3,800,000	83.2%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容
5月31日（火） 第1回理事会 （定時理事会）	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、経理規程の改定について 2、令和2年度事業報告および決算報告・監事監査報告 3、多機能事業所ループ運営規程変更 4、生活介護事業所ループ歩運営規程変更 5、多機能事業所ループ奏運営規程変更 6、相談支援事業所ぼるた運営規程変更 7、放課後等デイサービスあざみ運営規程変更 8、評議員会付議事項について 9、役員賠償保険の加入について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、理事長業務執行報告 2、令和3年度福祉充実残額について
11月24日（木） 第2回理事会 （定時理事会）	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、令和4年度1次補正予算 2、令和5年度事業所体制について 3、賃金規程の変更 4、監事監査規程の設置 <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、理事長業務執行報告 2、監事監査報告 3、放課後等デイサービス事業実地指導報告
3月15日（水） 第3回理事会 （定時理事会）	<p>議決事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、令和4年度2次補正予算 2、令和5年度事業計画 3、令和5年度当初予算 4、自立訓練（生活訓練）の廃止 5、経理規程の変更 6、組織規程の変更 7、生活会議事業所さつき運営規程変更 8、生活介護事業所まつぼっくり運営規程制定 9、多機能事業所ループ運営規程変更 10、放課後等デイサービスあざみ運営規程変更 11、管理者の変更 12、評議員会付議事項について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、多機能事業所ループ奏実地指導報告 2、社会福祉連携推進法人について

2 評議員会

日時・回	内容
6月15日(水) 第1回評議員会	<p>議決事項 1、令和3年度計算書類及び財産目録の承認</p> <p>報告事項 1、令和3年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について 3、規定の変更について 4、自立訓練(生活訓練)事業の休止について</p>
3月23日(木) 第1回評議員会	<p>議決事項 なし</p> <p>報告事項 1、令和4年度第3回理事会報告 2、令和4年度第2次補正予算 3、令和5年度事業計画 4、令和5年度当初予算 5、管理者の人事異動</p>

3 管理者会議

日時・回	内容
4月5日(月) 第1回	1、各事業所新年度スタート状況 2、集団指導情報共有 3、体制届進捗共有 4、法定研修受講者選定 5、理事会スケジュール確認
5月9日(月) 第2回	1、人事について 2、法人内部研修について 3、ワクチン接種について 4、特支実習生受け入れ状況共有 5、助成金申請について 6、職員目標設定面談について
6月6日(月) 第3回	1、人事について 2、法人内部研修について 3、虐待防止委員会実施に向けて 4、BCP(感染症)作成について 5、助成金申請の整理
7月4日(月) 第4回	1、ケース記録について 2、リース契約について 3、人事について 4、みら~との活動参画について 5、ワクチン接種について 6、利用者送迎について 7、書類の整理、溶解処分の検討・確認
8月8日(月) 第5回	1、次月からの体制確定 2、定員遵守について 3、予算執行状況確認 4、管理者会議議事録公開について 5、内部研修時の昼食について
9月5日(月) 第6回	1、人事について、パートタイマーの時給について 2、連携推進法人について 3、組織再編について 4、法人内部研修について 5、ハーモニーとの連携について 6、委託相談支援事業再編の動き共有 7、アルコールチェックの実施について
10月3日(月) 第7回	1、人事について 2、コロナウイルス感染状況共有 3、理事会スケジュール確認 4、前期人事考課進捗共有
11月7日(月) 第8回	1、あざみ実地指導報告 2、監事監査報告 3、法人内部研修について 4、次年度の事業体制、人員体制の見通し 5、前期人事考課評価結果共有

12月5日(月) 第9回	1、労務管理研修報告 2、コロナウイルス感染状況確認 3、次年度の事業体制、人員体制の検討 4、予算執行状況確認
1月9日(月) 第10回	1、新年近況報告 2、次年度以降の利用者送迎体制について 3、まとふく(Eラーニング、福利厚生)の運用終了について 4、処遇改善手当支給について 5、苦情の受付について
2月1日(水) 第11回 臨時	1、次年度体制について 2、次年度委員会組織について
2月6日(月) 第12回	1、ループ奏実地指導報告 2、補正予算、当初予算作成スケジュール確認 3、ABCしあわせ基金車輛寄贈について 4、法人内部研修について
3月6日(月) 第13回	1、浜北合同スポーツ大会について 2、法人内部研修、Mラーニング報告会振返り 3、事業計画書作成について 4、今後の役員体制について 5、連携推進法人について 6、次年度委員会組織編成

4 運営会議

日時・回	内容
4月27日(水) 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、浜名高校購買部について 4、今年度の浜北・天竜エリア自立支援連絡会について 5、利用者送迎について 6、「まとめて福利厚生」加入について
5月25日(水) 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、自立支援連絡会活動報告 4、はまきたフォーラムについて 5、監事監査報告 6、コロナウイルス感染対策の今後について 7、次回法人全体会議日程調整
6月22日(水) 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、職場体験学習の活動について 4、自立支援連絡会活動報告、他 5、はまきたフォーラムについて
7月27日(水) 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、BCP(感染症対策)作成チーム発足について 4、聖灯祭の出店について 5、自立支援連絡会啓発活動について 6、民生委員からの依頼について 7、はまきたフォーラムについて
8月24日(水) 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、本部建物環境整備ボランティアについて 4、コロナウイルス感染状況 5、自立支援連絡会報告、啓発活動進捗報告
9月28日(水) 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、アルコールチェックの導入について 4、職場体験学習の受け入れについて 5、各所備え付け規程集の確認 6、虐待防止委員会について 7、カラオケ設備について 8、民生委員研修報告
10月26日(水) 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、福祉事業所フェアについて 4、聖灯祭について 5、あざみ保護者ボランティアについて 6、アルコールチェッカーの活用について
11月23日(水) 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、監事監査報告 4、法人全体会議日程調整 5、運転免許証更新時の取り扱いについて 6、年賀状について
12月21日(水)	1、月次報告 2、委員会報告 3、年末年始の事務処理について

第9回	4、はまきたフォーラムについて
1月25日(水) 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、支援中の緊急時の連絡について 4、「手をつなぐ」の回覧方法について
2月22日(水) 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、法人全体会議日程調整、内容確認 4、今後のコロナウイルス対策について 5、虐待防止研修に向けて
3月23日(水) 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、自立支援連絡報告 4、福産品価格改定について 5、苦情の受付について

5 法人全体会議

日時・回	内容
6月29日(水) 第1回	1、理事会報告(決算報告) 2、Mラーニング活動詳細説明
1月25日(水) 第2回	1、理事会報告 2、新職員紹介 3、次年度事業所体系説明 4、総合支援法制度勉強会(給付の仕組みと加算について)
3月22日(水) 第3回	1、理事会報告 2、各協定書労働者代表選出 3、法人内部研修の振り返りと、研修委員会からの報告

XII 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
防災	5/10、6/28、7/12、8/9、9/13、10/11、 11/8、1/11、2/2、3/14	・大災害を想定した各所の強み弱みの洗い出し ・災害時の連絡訓練(171利用) ・防災訓練(地震・水難)実施と報告 ・耐震固定状況の確認と整備(継続中)
コンプライアンス	5/23、6/20、7/21、8/22、9/20、10/18、 11/21、12/19、1/16、2/20、3/21、4/18	・ヒヤリハットの集計と検証 ・ストレスチェックの実施 ・苦情解決についての実態把握 ・虐待防止委員会への参画 ・倫理綱領作成の検討 ・ほっとラインの運営
研修	5/13、6/10、7/1、8/5、9/16、10/7、 11/4、12/1、1/6、2/3、3/3、4/10	各研修の企画・準備
	2/25	職員全体研修「法人の歴史と理念の理解を深めて、10年後のみどりの樹について考えよう！」
	6、9、12、3月	法人内事例検討会
	動画配信	研修報告会(虐待防止 強度行動障害)
広報	4/21、5/19、6/16、7/21、8/25、9/22、 10/20、11/17、12/15、1/19、2/17、3/9	・みどりの樹つうしん作成・管理 ・HP管理、更新

		<ul style="list-style-type: none"> ・浜北事業所紹介の動画制作の協力 ・名札の作成 ・メール設定、zoom等のマニュアル作成
虐待防止	10/13、1/10、3/7	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の設置目的確認 ・委員会運営細則読み合わせ ・虐待防止研修の企画、実施
	3/25	法人内虐待防止研修

XIII 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
令和3年度決算監査	令和4年5月19日(木) (指摘事項なし)	会計監査 : 山崎陽司 業務監査 : 遠山秀敏
令和4年度定期監査	令和4年11月4日(金) (指摘事項なし)	事業計画進捗、ループ奏実地 業務監査 : 山崎陽司

XIV 地域における公益的取り組み

1 地域における公益的取り組みについて

事業計画ではコロナ禍の状況を鑑みながら、「照個屋」を催し、地域の方々の交流の場、お子さんから高齢の方まで多様な方に楽しんでいただく企画実施も視野に入れていました。

ただ、当年度については、前年度に引き続き新型コロナウイルスの収束には至らず、多くの方が集う場面の提案が難しく、予定通りの開催を断念せざるを得ませんでした。

XV 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

4月20日	職員の態度・対応について(取引先より)	4月26日 解決済	ループ(ライム)
12月23日	職員の態度、利用者対応のこと(他者より)	12月23日 解決済	ループ歩(さつき)
2月7日	職員の対応について(ご本人)	2月7日 解決済	ぼるた
3月18日	自動車運転について(他者)	3月23日 解決済	法人
3月24日	利用者対応について(サービス事業所より)	3月31日 解決済	ぼるた
3月28日	自動車運転について(他者)	3月28日 解決済	ループ歩(まつぼっくり)

2 ヒヤリハット報告

レベル0	間違った事が実施される前に気づいた	106
レベル1	間違った事が実施されたが、利用者等には変化がなかった	425
レベル2	利用者等に変化が生じ、一時的な観察が必要となったが、治療・対処の必要がなかった	122
合計		653

3 事故報告

レベル 3a	事故のため一時的な治療・対処が必要となった	8
レベル 3b	事故のため継続的な治療・対処が必要になった	8
レベル 4a	事故により長期にわたり治療・対処が続く	1
レベル 4b	事故による障害が永続的に残った	1
合計		18

● 多機能事業所ループ

I 総括

まだまだコロナ禍での制限のある活動を余儀なくされる 1 年となりました。特に 12 月は、多くの関係者に感染が確認されたので、一時（4 日間）事業所活動を休止せざるを得ない状況になりました。

休止中の自立訓練（生活訓練）事業については、本質的なニーズを地域の中に見出すことはあまりできませんでしたが、制度が期待している役割そのものは、地域の中には潜在的にもないわけではないと思います。今後は、現行事業所や自立支援協議会などと連携し、地域ニーズの整理や掘り起しの方に焦点化していくことが優先課題だと考えています。

就労移行支援事業については、今年度も利用のニーズはあまりいただけませんでした。それでも利用希望がある限り、ループらしい就労（雇用）支援を大切に、2 年間の在り方を丁寧に考えていきたいと思っています。

一方で、就労継続支援 B 型は、新規利用ニーズがコロナ禍前に戻りつつある印象です。次年度以降の利用希望もある状況を踏まえ、令和 5 年 4 月より定員を 20 人から 24 人に増やすことにしました。

前年度から引き続き上記のような状況からも、サービス種別のみでなく事業所の特長や雰囲気なども含めた発信・認知の重要性、またそれとニーズとのマッチングを丁寧に行っていく必要を強く感じています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

就労移行支援

常に定員を割っている状況で、利用者が 0 になった月が 4 か月間ありました。特化プログラムの SSP の実施ができず、一般就職に結びついたケースもありませんでした。また、10 月に 2 名、11 月に 4 名の計 6 名の就労アセスメントを実施しました。既就職者のフォローアップでは、昨年度に続き、職場訪問や電話での相談・調整を通して、迅速に対応することで、ご本人とも企業とも困った時には頼っていただける関係を大切にしました。

また、地域とのつながりを意識し、他事業所や他機関が集まる研修や会議に積極的に参加して、情報共有や関係づくりに努めました。

就労継続支援 B 型（ライム）

昨年度に続き、一人ひとりが元気にあいさつすることができるよう、あいさつを習慣化させるための声掛けや機会づくりをしました。自発的にあいさつをするようになったことで、活気のある事業所になりました。利用者の”やりたい”、”がんばりたい”を引き出し、はたらく喜びややりがいを実感しながら、意欲的に仕事ができるよう、新たな仕事の切り出しや機会の提供、作業工程の工夫をしました。生産活動において、下請け作業では、昨年度同様の作業を継続しながら、新しく始める作業もありました。自動車やオートバイ部品の下請け作業だけでなく、梱包作業や清掃作業にも力を入れて取り組みました。弁当事業では、安定して注文をいただくことができました。昨年同様、仕出しの予約・イベントへの出店件数が減少しましたが、市内の小中学校や福祉施設などからの問い合わせが増加したことで、新規の顧客獲得につながりました。材料費や諸経費の高騰で、現在の価格を維持することが困難な状況になり、値上げの検討に踏み切る運びとなりました。

地域とのつながりについては、昨年度同様、“元気にあいさつをする“ということを特に意識して行いました。また、開催を再開した地元のイベントに参加することで、地域の方々とつながりや交流を深めることができました。

就労継続支援B型（なないろカフェ）

既存の作業を見直し、より快適に作業ができるように利用者と改善策の話し合いを定期的に行いました。いただいた意見を形にして実行し、やりやすく且つ、できたことへの達成感やモチベーションの向上に、つながることが出来ました。なゆた浜北、浜北区役所への商品配達やチラシ配りも作業としてお願いしていますが、利用者の頑張っている姿を見て、お客様から商品についての問い合わせをいただいたこともありました。

お店に関しては、『マーケティング』を学びながら実践しました。お客様が求めているものを知る所から、商品の配置方法で、どう手に取ってもらえるかなど、一つ一つに意味を見出して実践しました。その成果があったか、テイクアウト率の上昇や固定客が少しずつ増えてきました。見たことのあるお客様に関しては来店時に「いつもありがとうございます。」と一言、感謝の言葉を伝えています。状況に応じてメニューの提案を行うなど「このお店に来て良かった。」「また来店したい。」と感じてもらえるような、お店作りを継続します。

地域交流の面ではコロナ禍で思うような動きができなかった分、今年度も SNS（Instagram）を定期的に発信。投稿でのご縁もあり、お店のご利用や商品の発注・梱包依頼など、SNS を活用して、お店の可能性を広げられることを実感しました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	カレーパーティー
5月	チップスでお買い物&カラオケ
6月	なし
7月	プチイベント(七夕)、ボーリング大会、かき氷&ビンゴ大会
8月	大掃除、ドーナツを食べながら作品づくりをしよう、防災訓練(地震と火災想定)
9月	表彰大会
10月	芸術の秋・食欲の秋を楽しもう、体育館で遊ぼう、プチイベント(ハロウィン)
11月	なし
12月	クリスマス会、大掃除

1月	初詣、防災訓練(避難場所の確認、非常持ち出しバックの確認、防災クイズ)
2月	プチイベント(節分)
3月	なし

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	17,125,637	18,500,000 円	92.6%
喫茶事業	5,298,663	5,000,000 円	106.0%
下請事業	4,188,129	4,000,000 円	104.7%
合計	26,612,429	27,500,000 円	96.8%

2 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援		自立訓練 (生活訓練)	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
3 年度	7,599,095	25,480	92,597	9,956	77,877	1,947
4 年度	7,400,559	25,876	63,182	10,350	0	0

時給設定 ① 320 円 ② 270 円 ③ 170 円

ボーナス 夏季 5,000~3,000 円 冬季 10,000~5,000 円 決算 20,000~10,000 円 ※作業従事率による

業務手当 調理場手当 1 日 200 円 (調理場担当者、弁当箱洗い当番、集計係に支給)

皆勤手当 ①2,000 円/月 ②1,000 円/月

V 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			ループ計		
		延利用者数 (人)	1 日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1 日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1 日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4 月	22	22	1.0	16.7%	442	20.1	100.5%	464	21.1	81.1%
5 月	20	12	0.6	10.0%	406	20.3	101.5%	418	20.9	80.4%
6 月	22	0	0.0	0.0%	460	20.9	104.5%	460	20.9	80.4%

7月	23	0	0.0	0.0%	435	18.9	94.6%	435	18.9	72.7%
8月	21	1	0.0	0.8%	423	20.1	100.7%	424	20.2	77.7%
9月	22	6	0.3	4.5%	432	19.6	98.2%	438	19.9	76.5%
10月	23	26	1.1	18.8%	432	18.8	93.9%	458	19.9	76.6%
11月	22	22	1.0	16.7%	437	19.9	99.3%	459	20.8	80.2%
12月	22	0	0.0	0.0%	382	17.4	86.6%	382	17.4	66.9%
1月	20	0	0.0	0.0%	395	19.8	98.8%	395	19.8	76.2%
2月	20	0	0.0	0.0%	413	20.7	103.6%	413	20.7	79.6%
3月	22	0	0.0	0.0%	456	20.7	103.6%	456	20.7	79.6%
合計	259	89	0.3	5.7%	5,113	19.7	98.7%	5,202	20.1	77.2%

● 生活介護事業所ループ歩

I 総括

さつきは新型コロナウイルス感染症について、まだまだ予断を許さない状況が続く1年となりました。施設内でも感染者の発生がありましたが、施設内での感染を最小限に留めることができました。生産活動の下請け作業では、前年度と比較すると安定した作業量の供給を受け、利用者に滞りなく作業を提供することができました。レクリエーション活動では、週に2回の散歩を定例化しました。また、室内で活動する際には、ラジオ体操など身体を動かすプログラムを取り入れることにより、利用者の運動不足解消や気分転換に繋がりました。

まつぼっくりはコロナの影響はありながらも、少しずつ売上げを伸ばすことができました。万葉の森公園内にある伎倍の茶屋さんよりコラボクッキーのお話をいただき、新しいクッキーの開発をしてその商品を買っていただくことで、地域のお客様に注目してもらうこともできました。またコロナの状況を見ながら外出の機会を増やし、利用者が楽しめることが増えてきました。イベントへの出店も久しぶりにすることができ、多くの方に声をかけていただくことで人とのつながりの暖かさを改めて感じることもできた1年でした。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

さつき

作業活動において、多様な働き方を提供できるよう、新規下請け作業の受注や提供方法の見直し、改善を行うことにより、作業に携わる時間をこれまで以上に確保することができました。

利用者が安心できる場所として、穏やかな気持ちで過ごせるよう、前年度に引き続き利用者の特性に配慮した環境整備に取り組みました。また、生き生きと豊かな生活が送られるよう支援するため、職員定例会議内でアセスメントを丁寧に行いました。研修委員会の企画する事例検討会に事例提供することにより、利用者の状

態や生活環境などの情報を再認識する機会となり、職員間で共有することで利用者が抱えている課題を明確にし、支援に生かすことができました。

まつぼっくり

作業活動においてパン・お菓子は売上目標を達成することができましたが、専門家の知恵を借りたりパン作りの知識を学ぶ研修へ行くことができませんでした。引き続き令和5年度の取り組みに入れて実現し新商品開発へ繋げていきます。Mラーニングの取り組みの中で、まつぼっくりの職員が「生活介護で働くことについて」研究発表をすることによって、職員間で1人の利用者に焦点を当てその方の働くことについて掘り下げて考え、色々な取り組みのアイデアを出すことができ支援方法についての話し合いをたくさん持つことができました。

地域とのつながりにおいてはインスタグラムを活用し、まつぼっくりのパンを知っていただく機会を作ることができました。また、回覧板にチラシを入れていただいたりポスティングなどを続けていくことで、近所の方がパンを買うためにまつぼっくりへ来所することが増え、地道な活動が実を結んでいるようです。

コロナの状況を鑑みながら外出、イベントへの参加も少しずつできるようになり、利用者の楽しみも増えつつあります。柏餅作りに挑戦するなど季節の行事も取り入れながら、視覚的支援を実践するため、時計や写真などを用いた説明を常に心がけました。

日常的には昨年と変わらず利用者の想いを受け止め、状況を共有し統一した質の良い支援の向上に努めることができました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	保護者会(ま) お花見(ま) 外出(都田公園)(さ) カラオケ(さ)
5月	外出(ガーデンパーク、なないろカフェ)(ま) 柏餅作り(ま) 保護者会(さ) 外出(アクティ森)(さ) DVD鑑賞(さ)
6月	廃品回収&パン安売りデー(ま) 防災訓練(さ)
7月	外出(掛川森林果樹公園)(ま) カラオケ(ま) 七夕会(ま) 避難訓練(ま) 外出(浜名湖ガーデンパーク)(さ) DVD鑑賞(さ) 七夕(さ) カラオケ(さ)
8月	夏祭り(ま) 大掃除&お疲れ様会(ま) 外出(浜名湖ガーデンパーク、都田公園)(さ) DVD鑑賞(さ) さつきde夏祭り(さ)
9月	まつぼっくりカフェ(ま) カラオケ(ま) 廃品回収&パン安売りデー(ま) 西部ふれあいレクリエーション大会(ま・さ)
10月	水害避難訓練(ま) 外出(労福協まつり、万葉まつり)(ま) 外出(浜名湖ガーデンパーク)(さ) さつきde運動会(さ)
11月	外出(浜北ふれあい広場)(ま) まつぼっくりカフェ(ま) 健康診断(さ、ま)
12月	廃品回収&パン安売りデー(ま) クリスマス会(さ・ま) 大掃除&お疲れ様会(さ・ま) 地域防災訓練(さ) ヤマハチャリティーミュージカル(さ)

1月	新年会(ま) 歯科健診(ま) まつぼっくりカフェ(ま) 初詣(さ) 水災訓練(さ)
2月	節分(ま・さ) まつぼっくりカフェ(ま) 外食(なないろカフェ)
3月	イースター(ま) 廃品回収&パン安売りデー(ま) 表彰大会(ま) カラオケ(さ)

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
さつき(下請)	1,082,381円	1,550,000円	69.8%
さつき(おからクッキー)	1,046,312円	1,300,000円	80.5%
まつぼっくり(パン・クッキー)	6,137,281円	5,600,000円	109.6%
まつぼっくり(その他)	3,900円	8,000円	48.8%
合計	8,269,874円	8,458,000円	97.8%

2 工賃支払実績

	さつき		まつぼっくり	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
3年度	1,028,861円	4,512円	2,145,844円	13,755円
4年度	1,114,907円	4,645円	2,155,536円	13,818円

V 利用者状況

事業 月別	稼働日	さつき			まつぼっくり			ループ歩 計		
		延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率
4月	22	367	16.7	92.7%	250	11.4	94.7%	617	28.1	93.5%
5月	20	331	16.6	91.9%	206	10.3	85.8%	537	26.9	89.5%
6月	22	367	16.7	92.7%	246	11.2	93.2%	613	27.6	92.9%
7月	23	353	15.3	85.3%	243	10.6	88.0%	596	25.9	86.4%
8月	21	328	15.6	86.8%	214	10.2	84.9%	542	25.8	86.0%
9月	22	336	15.3	84.8%	221	10.0	83.7%	557	25.3	84.4%
10月	23	379	16.5	91.5%	235	10.2	85.1%	614	26.7	89.0%
11月	22	373	17.0	94.2%	212	9.6	80.3%	585	26.6	88.6%

12月	22	350	15.9	88.4%	213	9.7	80.7%	563	25.6	85.3%
1月	20	324	16.2	90.0%	210	10.5	87.5%	534	26.7	89.0%
2月	20	344	17.2	95.6%	204	10.2	85.0%	548	27.4	91.3%
3月	22	375	17.0	94.7%	224	10.2	84.8%	599	27.2	90.8%
合計	259	4227	16.3	90.7%	2678	10.3	86.2%	6905	26.6	88.9%

● 多機能事業所ループ奏

I 総括

生活介護、就労継続支援 B 型共に定員以上の方にご利用いただき、活気ある 1 年でした。生活介護では、昨年度に引き続き特別支援学校や相談支援事業所から実習や空き状況の問い合わせを多くいただき、地域での生活介護事業所のニーズの高さを感じました。就労継続支援 B 型からは 1 名の利用者が就労継続支援 A 型の事業所へステップアップし、継続して利用している方の数名が安定して通うことができるようになりました。そのような中、9 月に事業所内で新型コロナウイルスの感染者が複数でたことや 1 週間稼働を休止したことにより、集団で生活する上で起こりうる危機を身をもって経験しました。この経験は今後の事業所運営に生かしていきたいと思います。法人内の一番新しい事業所として開所をして 3 年半が経ちました。法人全体研修で振り返った法人のルーツを大切にしながらも、新しい空気を発信してくことができる場所となるよう、今後も試行錯誤と検討を重ねていきます。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

生活介護（るるる）

作業の時間、リラックスして過ごす時間の区別がつき、メリハリができてきました。作業の時間では、席に着いて過ごすことができたり、集中して目の前のことに取り組むことができたり、と、それぞれに変化が見られています。オフの時間はそれぞれの過ごし方を尊重し、のびのびと過ごせるよう考えました。それぞれが安心して穏やかに過ごすために、職員間で統一した支援ができるようにしていくことができるよう、職員会議の実施などの取り組みを今後も実施していきます。

就労継続支援 B 型（ららら）

生産活動について、下請作業は取引先から安定した作業量いただくことができました。充実した作業量だったこともあり、苦手なことよりも得意なことのでがんばる場面が必然的に多くなりました。天竜高校購買での販売活動については、コロナの影響で販売自体がお休みとなることが何度かあり、売上が伸びませんでした。また、活動自体も利用者の関わるところが最小限となっており、今後はコロナの状況をみながらより利用者のみなさんが関わることで活動になるよう考えていきます。

あいさつが日常の中でなかなか定着しませんでした。まず職員が率先して場面に応じた挨拶をすることを心掛けました。利用者個々の話をしたいという思いに、できる限り丁寧に向き合おうと努めました。職員との信頼関係を少しずつ築き、安定して通うことの第一歩となったのではと考えます。

III 行事、防災訓練実施等

4月	おでかけ（うなぎパイファクトリー）
5月	みどりのカーテンを作ろう カラオケ 映画鑑賞
6月	なし
7月	かき氷を食べよう うちわ作り カレー作り
8月	大掃除・暑気払い 夏祭り
9月	カラオケ大会
10月	室内スポーツ大会 ハロウィンパーティー
11月	ウォーキング 映画鑑賞 お菓子作り（スイートポテト・お汁粉）
12月	クリスマス会 大掃除
1月	初詣 お正月遊び
2月	お買い物レク
3月	お花見ドライブ

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,392,641 円	1,400,000 円	99.5%
天竜高校	1,770,810 円	2,400,000 円	73.8%
合計	3,163,451 円	3,800,000 円	83.2%

2 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
3年度	1,262,360 円	8,085 円	246,105 円	1,964 円
4年度	1,405,561 円	8,518 円	277,620 円	2,103 円

V 利用者状況

事業	稼働日	ららら (定員 10)			るるる (定員 10)			ループ奏 計 (定員 20)		
		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4月	21	189	9.0	90.0%	215	10.2	102.4%	404	19.2	96.1%
5月	21	192	9.1	91.4%	206	9.8	98.1%	398	18.9	94.7%
6月	22	205	9.3	93.2%	233	10.6	105.9%	438	19.9	99.5%
7月	23	208	9.0	90.4%	217	9.4	94.3%	425	18.4	92.3%
8月	21	191	9.1	91.0%	204	9.7	97.1%	395	18.8	94.0%
9月	22	151	6.9	68.6%	168	7.6	76.4%	319	14.5	75.9%
10月	23	201	8.7	87.4%	208	9.0	90.4%	409	17.7	88.9%
11月	22	210	9.5	95.5%	210	9.5	95.5%	420	19.1	95.4%
12月	22	203	9.2	92.3%	205	9.3	93.2%	408	18.5	92.7%
1月	20	179	9.0	89.5%	191	9.6	95.5%	370	18.5	92.5%
2月	20	177	8.9	88.5%	197	9.9	98.5%	374	18.7	93.5%
3月	22	195	8.9	88.6%	223	10.1	101.4%	418	19.0	95.0%
合計	259	2,301	8.9	88.5%	2,477	9.5	95.3%	4,778	18.4	92.2%

● 放課後等デイサービス あざみ

I 総括

R4年度は、12月と2月に新型コロナとインフルエンザの影響により利用者数が減少しましたが、それ以外の月はほぼ予定通り推移しました。定例のパート職員も含めた支援者会議を活用し、子どもの状況に応じた支援に取り組みました。上手くいくこともあれば、対応方法に悩むことも少なくありませんが、日々の支援の積み重ねが大切だと考えています。環境面では、晴れの日には外活動や園庭を使った遊びを中心に行うことで気持ちの安定にもつながり、子ども同士の遊びの共有場面も増えました。反面、雨天時は活動内容や場所も限られるため、さらなる工夫の必要性を感じました。安全確保の観点から駐車場の木の一部を伐採しましたが、次年度以降も引き続き、環境整備にも目を向けていきます。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

基本的日常生活動作の習得と自立生活を支援する活動として、石鹸での手洗いと手指消毒の呼びかけや排泄支援、気持ちの伝え方の支援等を継続し、子どもたちの成長を感じる場面も増えています。児発管が中心となり学校や家庭と子どもの状態について情報交換し、支援者間で共有しました。感覚の過敏さや相性を考慮した形で活動等を組み合わせ、道路への飛び出しを防ぐためにフェンスにネットを張る等、日々安全性の確保に努めています。

創作活動では手からの感覚を楽しむ子が増え、水遊び・砂遊び・小麦粉粘土等が人気でした。半面、絵を描く・工作等の活動は達成感を得られる創作活動に発展させるための声掛けや環境設定が次年度の課題と考えています。集団の安定と安全を図るため、自然と触れ合うことで安定する子、他児の声で刺激を受けやすい子、少人数であれば自分がやりたいことを楽しめる子等、外と中にグループを分けた活動を基本としました。

職員研修では虐待防止研修にパート職員も含めて参加し、支援方法の見直しや疑問点について共有できました。放課後連の研修では「アセスメントシート」を学び、成育歴の大切さや保護者の思いの理解が深まり、今の子どもの表れについてより考えられるようになりました。

地域とのつながりについては、エリア内の放デイ・児童発達事業所との協議を継続しています。新規受入に向けて児童発達支援施設への見学と情報共有の機会を作りました。散歩時に地域の方から声を掛けていただくことも増えています。園庭フェンスへの看板設置については、子どもの行動パターンから継続設置は難しいと判断しました。

III 行事、防災訓練実施等

	行事	創作
4月	始まりの会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	こいのぼり
6月	なし	壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり	七夕飾り
8月	外食体験・外出体験(小国神社)・調理実習・夏祭り	夏祭り飾り
9月	なし	
10月	ハロウィン	ハロウィン衣装 お面
11月		壁面飾りもみじ クリスマス飾り
12月	クリスマス会	クリスマス飾り
1月	初詣	壁面飾り 鬼
2月	豆まき	ひな祭り顔はめパネル ひな人形
3月	ひな祭り 卒業生を送る会 頑張りましたの会	壁面飾り さくら
毎月	避難訓練	

IV 利用者状況

1 月別利用者数（定員 10 名 登録者 17 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	26	26	25	26	26	26	24	23	24	27	305
延利用者数(実績)	256	259	271	255	242	254	251	250	206	233	219	271	2,967
1日平均利用者数	9.8	10.0	10.4	9.8	9.7	9.8	9.7	9.6	8.6	10.1	9.1	10.0	9.7
稼働率(%)	98.5	99.6	104.2	98.1	96.8	97.7	96.5	96.2	85.8	101.3	91.3	100.4	97.3

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	46	49	49	47	50	64	305
年間利用者延人(人)	493	506	515	499	554	400	2,967
平均利用者数(人)	10.7	10.3	10.5	10.6	11.1	6.3	9.7

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	5名	0名
小学4年～6年	4名	0名
中学生	2名	0名
高校生	6名	0名

● 日中一時支援事業 あるば

I 総括

R4年度も浜松市の地域生活支援事業である日中一時支援事業を実施した結果、放課後デイサービスの一ヶ月の利用可能日数を超えてサービス利用を必要とする家庭が一定数あり、保護者が子どもを預けられる場所としての役割は果たせていると感じています。また、通常の学校稼働日は他の放課後デイサービスを利用し、土曜日や祝日が利用できない場合にあるばを利用されている子もいる為、地域で求められているニーズには微力ながら応えられていると捉えています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

基本的には併設の放課後等デイサービスあざみと一体的に活動を行いました。あざみと同様に特性の理解や配慮をしながら、日常生活動作の習得や余暇支援に取り組みました。あるばを利用している子どもの中には毎日来る子もいる為、その場合は日々の様子や変化から支援方法を判断しています。しかし、通常は他の放デイに行っている子の中には週1回だけあるばに来る子もいる為、その子自身の戸惑いや日々の様子を目にしている難しさを感じています。それでもあるばで過ごす時間を少しでも楽しく過ごせるように次の利用機会につながる遊びや子ども同士が遊びを共有できるような支援も実施しています。併用している子については、感染症拡大防止の観点も含めて、学校や家庭、他の事業所との情報共有に努めました。

III 行事、防災訓練実施等

行事や防災訓練の実施は、放課後等デイサービスあざみと一体的に行っているため、あざみ参照。

IV 利用者状況

1 月別利用者数 (定員7名 登録者数15名)

(定員7)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	26	26	25	26	26	26	24	23	24	27	305
延利用者数	89	90	103	89	61	86	90	94	65	79	90	90	1,026
1日平均	3.4	3.5	4.0	3.4	2.4	3.3	3.5	3.6	2.7	3.4	3.8	3.3	3.4
稼働率(%)	48.9	49.6	56.6	48.9	34.9	47.3	49.5	51.6	38.7	49.1	53.6	47.6	48.1

2 サービス併用状況

あるばのみ利用	4名	週3日 固定した曜日に利用
あざみ・あるば併用	6名	あざみ主、支給超え時あるば利用
あざみ・あるば・他放デイ利用	0名	あざみ月～土、日曜他放デイ利用
他の放デイを主に利用	5名	他放デイ休日に利用(土、祝)

● はまきた地域活動支援センター

I 総括

R4年度は1日平均、7.6人の利用実績がありました。プログラムの内容は問わずに利用する方、興味のあるプログラム限定で参加する方、新たなスタートのきっかけとして利用する方、利用の仕方は大きく分けて3つのタイプに分けられます。登録者全体では80人を超えますが、その内半数は登録のみで利用実績はありません。これは例年同様の傾向といえますが、地活の役割・意義からも登録することによってつながっている実感と安心感は少なからず提供できているのだと思います。登録されているすべての方へ、定期的にプログラムのお知らせや機関誌の送付は行っています。

新規利用につながる経緯の多くは、委託相談センターや計画相談事業所からの案内で、その後も地活の様子を伝えたり、生活状況を把握した上で他の福祉サービスとも必要な支援を連携して進めるケースもありました。

昨年度に引き続き、すべてのプログラムを予約制で実施し、予約という限られた枠の中でより多くの方が平等に参加できるよう抽選システムを取り入れました。次年度は、新型コロナの類型変更を受けて、一部メニューを除いて予約制を解除する予定です。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

毎月、プログラムを組む前にやってみたいことをヒヤリングし、そこでの希望を積極的にプログラムに取り入れました。既存の少人数グループ（青春倶楽部、昼下がりのいっぶく）は、コロナ禍により流動的ではありましたが、継続して実施しました。新たな少人数グループを作ることを目標にしていたのですが、プログラムによって参加する利用者が固定をされていたことや想定していた利用者のその後の様子から、改めてグループを作る必要がなかったと感じ、グループ作りは行いませんでした。

なないろカフェでの活動が多く、雑貨コーナーへ買い物に来たお客様に地活について説明する機会が数回あり、近隣の方々にも地活の存在を知ってもらう機会になったと思います。また、エコウォーキングを定期メニューとし、なゆた浜北周辺のゴミ拾いを継続して行いました。その他、積極的に近隣大学へ学生ボランティアを募集した結果、3名の学生がボランティアに来てくださり、その内2名は約1年継続してくれました。話ができることを楽しみにしている利用者も多く、学生ボランティアの募集は続けていきたいと考えています。学生に限らず、各プログラムにそれぞれの得意なことや強みを生かして継続的に参加して下さっているボランティアの皆さんにも支えられました。

III 行事、防災訓練実施等

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
------	----------	-------------------------	--------------------------	--------------	-----------------------------

青春クラブ カラオケ 音楽鑑賞会	いっぶく、昼下がりのいっぶく 卓球 ゲーム会	パソコン教室 すい一つめもりー	青春倶楽部（外出）	朗読カフェ 昼下がりのいっぶく パソコン教室 ちくちくクラブ	大学・看護学校・中学生へレクチャー
外出 イベント等	4月 ミステリーテイクアウト会 5月 ミステリーテイクアウト会 6月 お料理隊 7月 焼き肉パーティー 8月 かき氷食べ放題 こなものパーティー 9月 利き茶選手権			10月 ハロウィンパーティー、作品作り 11月 テイクアウトランチ会 12月 クリスマス会 1月 初詣と食事会 2月 カレンダー作り 3月 桜を見に行こう	

IV 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	172	158	167	172	168	157	180	130	172	133	162	167
磐田市	2	5	6	1	4	5	4	2	0	3	4	5
合計	175	163	174	173	172	162	184	132	172	136	166	172
1日平均	7.9	8.1	7.5	7.8	8.1	7.7	8.0	7.5	8.1	6.8	7.9	7.4

● 特定相談支援事業所 ぼるた

I 総括

令和4年度も昨年度に引き続き、新規ケースを多く受け入れました。特に浜北区のケースは積極的に、浜北区以外のケースも可能な限り受けていきました。9月中旬からは新たに1名の相談員が増えたこともあり、サービスを必要とされるみなさんを長くお待たせすることなく、サービスにつなげることができました。

また今年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催になっていた地域の様々な会議体が、対面で行うことが可能になってきた年でした。画面越しではなく会場に集まって会議や事例検討ができたことで、他機関の相談員や関係者とのつながりや、情報共有の時間がより深まりました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

ご本人や家族の気持ちや生活状況の変化に合わせた支援を行いました。今年度は自宅や病院からグループホームへの入居を目指していく方、また一人暮らし体験事業を通して一人暮らしを目指す方など、生活環境が変化された方が例年より多かったと感じます。ご本人、ご家族が安心し、新たな環境で自分らしい生活を送ることができるように、ご本人に関わる様々な機関と協力をしながら丁寧な支援を心掛けていきました。

地域とのつながりについて、今年度も地域の連絡会へ参加を継続するとともに、困難ケースについては相談し、事例検討のテーマにしていただくなど、自らの抱えている課題へ地域からご尽力いただきました。また、ケースを通してつながった福祉関係者より紹介していただいた地域のフードバンクから、別ケースの食べ物に困っている方へ食糧支援をしていただくこともありました。地域の力で支援を必要とする人と資源を結んでいただき、地域のつながりの大切さをより実感した一年でした。

III 利用状況

1 実施人数と計画内容

実人数 158 人 （※参考 令和3年度実績：140人、令和2年度実績：114人、令和1年度実績：100人）

利用事業	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練	共同生活援助	生活介護	居宅介護	同行援護	療養介護	短期入所	施設入所	利用契約のみ	合計
R 4年度	30	36	21	5	1	8	27	33	2	1	48	2	4	218
R 3年度	24	42	10	2	3	4	27	39	2	0	39	2	0	161

※実施人数と計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため

2 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	2	2	2	6	0	1	1	2	5	0	4	3	28
モニタリング数	41	39	34	39	38	28	29	32	38	42	41	49	450
更新	4	14	15	15	15	9	10	15	10	10	11	16	144

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし